

# 令和元年度 保幼小連携地区ブロック活動報告書

- 1 地区ブロック名 芳賀 地区ブロック  
 今年度のテーマ ポイントとなる姿（ 思考力の芽生え ）

- 2 地区ブロックの組織（ブロック内学校・園・所名）  
 ・芳賀小学校 ・芳賀保育所 ・芳賀南保育園  
 ・認定こども園 ふたばこども園 ・認定こども園 わかくさ幼稚園  
 ・認定こども園 **明和幼稚園**

- 3 連携推進活動（実施した交流活動等）

日 時	場 所	内 容
平成 31 年 4 月 4 日	ふたば保育園	入園式（卒園児参加）
令和元年 7 月 23 日	芳賀保育所	夏祭り（小学生招待）
令和元年 7 月 27 日	芳賀南保育園	納涼祭（小学生招待）
令和元年 9 月 7 日	ふたば保育園	秋祭り（小学生招待）
令和元年 10 月 5 日	芳賀南保育園	運動会（小学生招待）
<b>○令和元年 10 月 11 日</b>	<b>明和幼稚園</b>	<b>地区ブロック研修会</b>
令和元年 11 月 10 日	ふたば保育園 芳賀保育所 芳賀南保育園 明和幼稚園 わかくさ幼稚園	芳賀ふるさと祭り
令和 2 年 3 月 6 日	芳賀小学校	芳賀小学校見学

- 4 令和 2 年度の代表校園所【 芳賀小学校 】

- 5 これからの保育・教育に生かしたいこと

- 今回の研修を通して、改めて子どもの発想や思考のおもしろさに気付きました。その中で保育士も一緒になって遊び方や生活の仕方を考え、提案していけることも大切なのだと知りました。ともすれば子ども同士のやりとり任せきりにしてしまいそうなテーマでしたが共に考えていくことで発想や思考の幅も広がっていくのかなと思います。またこれから、子どもたちから出てくるアイデアを楽しみながら、一緒に考えていくことも楽しみたいです。

今後の研修では、環境整備や給食等の職員からの観点に注目するなど多面的に見る幼児保育・教育という内容にも関心があります。

- 明和幼稚園では、各年齢に合わせた環境設定がきちんと整っていて子どもたちも、自分で遊びを自由に展開していました。毎日の生活の中で豊富な製

作材料や道具、楽器などとても慣れ親しんでいるようで自らの力で考えて行動していることが伺え驚きました。また、アドバイザーの田子先生の助言の中に、夢中で遊ぶこと、没頭して遊ぶことが大切で、遊べないのは何か足りていない。保育者は見通しを持った援助が必要であること。乳幼児期の色々な体験がコミュニケーションをとることの基礎となり、小学校生活を支える大事な力となるということ。10の姿、5領域が絡まり合って育っていくということ。とても心に響きました。この研修を通して、貴重な研修をさせていただき、これからの保育に生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。

- ・ 自分自身が体験することで身に付くことがたくさんあると思うので、遊びを通して様々な体験をさせてあげることが大切だと感じます。子どもとの関わりの中で気持ちを共感し合ったり、伝え合ったりして、子どもの思いに寄り添いながら、子ども自身が自らの言葉で発信できるような環境を作り、丁寧に見守りつつ援助していくことが重要だと思いました。また、保育者が自身の取り組みをわかりやすくする為に付箋を使用することがとても役立つことだと改めて思います。見通しをもった保育ができ、自分自身の反省にもつながり勉強になります。

明和幼稚園では、いきなり室内に入っていった私にも大きな声で挨拶をしてくれ、とても気持ち良かったです。お世話になりました。

- ・ 今回明和幼稚園さんを見学させていただいてとにかく子どもたちが伸び伸びと遊べる環境が充実していると感じました。室内で折り紙製作したものを園庭に持って行って遊ぶなど、何を使ってどこで遊ぶのか、子ども自らが考えて選択し、制限されずに遊べる環境だからこそ子どもの思考力が育っていくのだと思いました。田子先生のお話の中にもあったように小学校に向けて遊びから活動への切り替え時に、自分で気持ちも切り替えられる力を身につけていけるようにという話がありましたが、遊びを十分に楽しみ、満たされれば自然と次の活動へも積極的に行動できるのではないかと感じました。遊びがより充実したものになるよう、保育士としての役割は助言しすぎず見守りながら、なおかつ子どもの遊びが深まるような考え方やアドバイスを提案していければと思います。普段はなかなか他園の保育風景を見させていただく機会がないので大変勉強になりました。ありがとうございました。

- ・ 10/11の研修では、お世話になりました。素晴らしい保育環境で気持ちの良い空間でした。今回の研修を通して今後の保育に生かしたいことは3つあります。

- ①保育環境を整える・・・身近な事象に積極的に関わり、考え合える環境設定をする。
- ②子どもたちの遊びへの関わり・・・子どもの遊びを見守るだけでなく「何故?」「どうしたら?」「こうやってみよう」等、時には提案をしながらもっと面白くする追求をする。
- ③振り返り・・・1人の経験をみんなに知らせ、経験を広げる。子ども同士の振り返りも行ってみたい。